

# CS通信

訓子府町 CS・学校運営協議会

地域みんなで学校応援団  
これまでのCS通信や学校運営協議会に  
関する情報はこちらへ 《訓子府町HP》→



## CS(コミュニティ・スクール) 第1回学校運営協議会の開催

今年度の第1回の訓子府町学校運営協議会を5月24日に開催しました。委員の自己紹介後、認定こども園から小中学校、高校の園長・校長より本年度の学校経営方針・重点目標等について説明があり、全て承認されました。

### 各校の今年度の経営方針が承認される！！

- 〈認定こども園〉こども園の現状と課題、今年度の重点を8点。(1)こども家庭庁の新設、新町長の公約:こども園へ期待がさらに高まっている。(2)園児減少への対応:出生数が少なくなり、今後も園児数が減少。(3)新型コロナ5類移行:集団での活動が行えるようになり、園児の表情が分かるようになった。(4)安全・安心のため、手洗いの励行や消毒は継続。(5)幼小連携を推進する。(6)特別支援教育の保護者理解を進め、ノーマライゼーションを推進する。(7)職員世代交代期。年長者の経験を若い人に引き継ぐ。(8)保育支援システム(コドモン)導入2年目、さらに活用し、職員の働き方改革にもつなげたい
- 〈訓子府小学校〉今年度の重点を「自ら学び、互いに認め合う子供の育成」とし、具体的には、「自ら考え、判断し、行動する子供」(自立と自律)、「温かな関わりの中で磨き合い、それぞれの多様性を尊重する子供」(他者尊重)、「地域を想い、地域を拓く志を持った子供」(郷土愛)を見ざした教育活動を進めることで、「協働する力」「挑戦する力」「主体性」「やりきる力」「伝え合う力」が育つと考える。そのために学校は、「温かな人間関係と「わかる」「できる」で楽しい授業」を経営の重点とする。
- 〈居武士小学校〉コロナ明け、連携再構築の一年としたい。幼小中高とも後援会や地域とも連携交流を増やしたい。「共育」保護者・地域・関係機関の皆様の協力をいただきながら共に進めていく。23名の小規模校、子供たちの出番が多い。その中で子供の実践力を高めたい。子供を信じて任せて、困ったときに支える関わりの中で力を付けたい。学習面ではPCの利用や英語の導入があり大変な部分もあるが、しっかりと取り組んでいく。家庭学習や読書等については、家庭の協力をいただきたい。健康面での心配がある。YouTubeなど画面の視聴時間が長い。朝、眠たい児童もいて、みんなで取り組んでいく必要がある。
- 〈訓子府中学校〉今年度の重点を「的確に判断して行動できる生徒の育成」とあえて昨年度と同じとした。今年度はより定着と深化をさせたい。今年は副主題として「粘り強く挑戦」も付け加えた。それらの力を育てるための経営のポイントが「わかる授業づくりの推進」、「見通しを持ち自ら学ぶ生徒の育成」、「目標に向かって挑戦し続ける心の醸成」となる。チーム訓子府中学校として、組織的で機動力のある校内体制を構築し、関係機関・こども園・小高との連携を進める。学校教育目標の実現のためには、保護者はもちろん学校運営協議会との連携協働は欠かせない。教員が元気な心と姿で子供たちと関わり指導するために働き方改革を同時に進め、今年度の学校経営を進めたい。



\*裏面に続く

## ◇令和5年度 学校運営協議会委員の皆様 ~よろしくお願ひします。~【敬称略】

認定こども園育友会会長	西森 大樹 (新)	訓子府小学校PTA会長	高城 耕一 (新)
居武士小学校後援会長	伊藤 拓 (新)【副会長】	訓子府中学校PTA会長	武田 智雄 (新)
認定こども園評議員	広部 ひかり	訓子府小学校評議員	森岡 勇一
居武士小学校評議員	河野 晴男	訓子府中学校評議員	湊谷 克博
町内会連絡協議会会長	石田 敏明 【会長】	実践会連絡協議会長	島貫 亨 (新)
スクールサポーター	美馬 律子	認定こども園長	牧野 喜充
訓子府小学校長	加藤 弘一	居武士小学校長	井坂 裕一
訓子府中学校長	橋本 正之	訓子府高等学校校長	金森 卓紀
J Aきたみらい訓子府地区事務所担当M	畠山 重文	訓子府町商工会副会長	但野 正美

〈訓子府高校〉今年度30名の入学、昨年度は23名と生徒数は順調に推移している。これも訓子府町始め町民の皆様のご支援の賜物と考えている。教育活動の重点は、「個別最適化された学び」、「ICTを活用した主体的な学び」であり、基礎基本の定着を重視している。生徒指導では、「コミュニケーション能力と自己有用感を向上」を重視する。今年はコロナの収束、生徒数が多くなったことで部活動や学校行事の充実と学校生活の質を向上させていきたい。健康安全指導では、災害等が多くなっているため安全意識を身に付けさせる。進路指導で、全員が自分の進路を実現させることが目標。今年の卒業生は無事実現できた。継続させていきたい。これらを実現させるための運営方針として、(1)教職員の協働体制の充実と働き方改革の実現。(2)きめ細やかな生徒指導。(3)研修の充実。(4)町との関係、幼小中との関係を深化充実させる。今年は訓高生が町に恩返しをしていきたい。(5)地域から信頼される学校を目指す。

今年度の学校運営協議会は、あと2回予定されています。11月には「前期の学校経営の評価と反省」についての発表と「今日的な教育課題についてのグループ協議」、2月には「今年度の学校経営の反省」と「学校運営協議会の活動のまとめ」について話し合う予定となっています。

## ◇ 今年度も「スクールサポーター」の活動が始まりました！ ◇



写真左上は、「居小朝の読み聞かせ」です。地域のサポーター4名が、1・2年生教室を訪れて絵本の読み聞かせを行います。年間9回の予定です。写真中央は「こども園種まき」です。銀河農園の畑にジャガイモの種イモを植えました。植え方を野菜倶楽部の皆さんが優しく教えてくれました。写真右は、「訓中・訓高の協働農作業」です。サポーターの齊藤さんご家族と石見さんご夫妻がタネイモ・タマネギの苗を提供してくださり、植え方を指導してくれました。中学生・高校生ともたくさんのジャガイモとタマネギを給食センターに寄付しようと、張り切って作業を進めていました。写真左下が、「居小5・6年の田植

え学習」です。地域の島貫さんの水田で田植えを体験させていただきました。

今年度も多くのスクールサポーターの皆様のご協力で充実した学習活動が行えます。今後もよろしくお願ひします。

～ できる時に、できる範囲で 安全パトロール ～

## 「ながら見守り」のお願い

地域の中で元気いっぱい成長していく子どもたち、でも、子どもたちの周りには危険がいっぱい！

登下校時や放課後に心配される交通事故、子どもたちに声をかける不審者などなど。また、ご家庭や学校で指導はされていても、危ない場所に立ち入ったり、危険な遊びをしてしまったりしてしまうこともあります。

多くの方が、さまざまな場所や時間に子どもたちを見守ってあげるにより、事故や犯罪を未然に防ぐことができます。

普段の「犬の散歩」や「ウォーキングやジョギング」の途中、「買い物」の途中、「車の運転中」など、何かをし「ながら」で構いません。子どもたちを見守ってあげてください。危険な行為等を見かけたら、その場で注意してあげてください。そして、学校に連絡をお願いします。

